

佐賀県県民協働課長 様

住 所 佐賀県三養基郡基山町宮浦182-1  
団 体 名 基山フューチャーセンターラボ  
代表者職・氏名 代表 鷲尾 依子  
電話番号 090-2714-1826

佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による  
寄附金活用実績報告書

令和3年度において当団体に交付された佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」を活用して下記のとおり事業を実施したので、佐賀県ふるさと寄附金（「県民協働の地域づくり」及び「NPO等を指定した支援」）による寄附金交付要綱の規定により、関係書類を添えて報告します。

記

- 1 活用実績報告書（様式第7号 別紙1）
- 2 収支決算書（様式第7号 別紙2）

令和3年度 佐賀県ふるさと寄附金「NPO等を指定した支援」による寄附金活用実績報告書

団体名 基山フューチャーセンターラボ

1 事業実施期間 2021年4月 1日から 2022年 3月31日まで

2 事業の成果（県民の便益にどのようにつながったのかについて記載）

※提出期限までに成果・効果を示すことが困難な場合は、成果・効果の見込みを記入してください。

令和3年度は昨年度同様に新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、様々な管理運営に不安を残しながらのスタートであり、予定していた事業やイベントの中止、延期を余儀なくされた。

重点目標の1つ目である魅力ある空間づくりでは、新たなチャレンジショップとして「小麦堂」のオープンを支援した。自主事業のコンサートイベント等も開催され、新規客層を獲得されたがコロナ禍の影響により一時的に開店できない時期もあった。また土曜日にオープンする「ラボカフェ」では、交流人口の拡大に繋がった。このほか取材対応やイベント賃貸等による情報発信もできた年度であった。

重点目標の2つ目として、自ら稼ぐ組織としての基盤強化では、1年間を通じて販売を行った「水よう日のパン屋」が昨年を上回る売上を更新した。また新たな企画として基山町産のパン用小麦粉の生産を試み、一定の評価を得ることができた。

重点目標の3つ目である多種多様な人材との交流では、まち歩き人生ゲームのチェックポイントとして多くの方が訪れた。なお、まちゼミでは神野元基さんによる講演を行い、交流を行うことが出来た。

3 寄附金を活用して行った事業の実施に関する事項

(1) 今年度寄附金を活用して行った事業（GCFを行った場合はGCF名とその内容を記載）

事業名	具体的な事業内容	(A)実施日時 (B)実施場所 (C)従事者の人数	(D)受益対象者の範囲 (E)人数	事業費の支出金額 (単位：千円)
① まちゼミ	学びをやめないの理念を遂行するために各界の著名な方を招き学びの場とする	(A)7月10日(土) 16:00~18:00 (B)基山フューチャーセンターラボ(基山町) (C)8人	(D)教育に関心のある方 (E)13名	50
② 多様な人材交流の場づくり	地域内の交流や居場所促進のための場づくり	(A)毎週土曜日 (B)基山フューチャーセンターラボ(基山町) (C)2人	(D)教育、まちづくりに関心のある方 (E)約90人	245

	東明館サイエンス部と共同 培養した酵母を活かした パンの制作	(A) 毎週水曜日 (B) 基山フューチャーセンター ラボ(基山町) (C) 3人	(D) 教育、食 に関心のある方 (E) 約90人	184
--	--------------------------------------	--	---------------------------------	-----

(2) 次年度繰越金が発生する場合、その活用見込み

事業名	具体的な事業内容	(A) 実施日時 (B) 実施場所	事業費の 支出金額 (単位：千円)
① まちゼミ	コロナ禍により延期した講演を実施	(A) 6月、9月 (B) 基山フューチャーセンター ラボ(基山町)	377

(様式第7号 別紙2)

収 支 決 算 書

区 分		決算額 (円)	備 考
収 入	佐賀県ふるさと寄附金	1,200,000	第4回交付：1,200,000
	収入 計	1,200,000	
支 出	○まちゼミ		
	謝金	50,000	
	○多様な人材交流の場づくり		
	謝金	184,000	
	旅費		
	印刷製本費		
	消耗品費	45,000	
	使用料・賃借料	200,000	
	返礼品等の調達に係る費用	305,000	
	返礼品等の送付に係る費用	39,000	
	ふるさと納税の広報に係る費用		
	ふるさと納税の事務に係る費用		
	次年度繰越金	377,000	
	支出 計	1,200,000	

○GCF を行った場合は、GCF の事業単位で支出を区分して記載してください。その他の事業についてもできるだけ事業単位で記載してください。

○支出区分は、謝金、旅費、印刷製本費、消耗品費、使用料等に分けて記載してください。経理上の区分名で記載して構いません。

○領収書等は事業終了後5年間保存してください。